

第 56 回学術集会における委員会企画プログラム視聴のお願い

会員 各位

周産期臨床研究コンソーシアム委員会 委員長 齋藤 滋
女性医師活躍推進委員会 委員長 和田和子

第 56 回学術集会の各プログラムは、11 月 28 日（土）正午～12 月 11 日（金）正午まで、オンデマンド配信されます。

周産期臨床研究コンソーシアム委員会と女性医師活躍推進委員会では、以下の配信を行います。是非ご視聴いただきますようお願い申し上げます。

■女性医師活躍推進委員会企画

テーマ：次世代を託せる女性役員を育てるために

今回、委員会の 4 つの提言の中の「女性役員を増やすための提言」に焦点を当て、企業における女性役員の割合向上を目指す 30% Club Japan のボードメンバーである後藤順子さんにご講演をお願いしました。委員会メンバーによる質疑も追加しております。ぜひ、ご覧になってください。

演者：後藤 順子（デロイトトーマツ合同会社）

■周産期臨床研究コンソーシアム委員会企画シンポジウム

テーマ：今までの臨床研究からワンアップする方法

座長：齋藤 滋（富山大学）

演者

1. 臨床研究のすすめ方と次につなげる大切さ
永田 知映（国立成育医療研究センター臨床研究開発センター）
 - 1) 小・中規模の研究から、より大規模な研究へ進めていくための方策
 - 2) 文献検索、統計解析、データマネージメントの重要性
 - 3) 研究デザイン、サンプルサイズの決定
 - 4) 多施設共同研究
2. 研究疑問の設定と簡単な文献検索の方法
大田えりか（聖路加国際大学大学院国際看護学）
 - 1) 研究を始める際に過去の臨床研究を検索する作業が必須となる

- 2) 文献検索の方法
- 3) 過去の臨床研究で明らかとなっていない点を明確にする
3. 小・中規模の臨床研究における統計解析のコツと大規模研究に向けた役割
井上 永介（昭和大学統括研究推進センター）
 - 1) 個々の臨床研究のみを見るのではなく、過去の臨床研究の「つながり」として見ることが重要
 - 2) 臨床研究を企画、評価する際に必要となる統計解析と、その解釈につき解説
4. 今日から始める医療従事者のためのデータマネジメント
加幡 晴美（国立がん研究センター中央病院臨床研究支援部門データ管理部／JCOGデータセンター）
 - 1) 統計解析を行なうためにはデータの信頼性が極めて重要。そのため、データマネジメントが必要になる。
 - 2) データの整合性、患者の安全性、臨床研究の適切な施行、正確なデータの入力などを行なう、非常に重要な役割を担う。
5. 事例：臍帯潰瘍の研究 —後ろ向き観察研究から前向き多施設共同研究を計画して—
小澤 克典（国立成育医療研究センター胎児診療科）
 - 1) 文献調査
 - 2) 自施設の後方的調査
 - 3) 胎児十二指腸閉鎖症・空腸閉鎖症の疾患レジストリを構築した。母体・胎児の背景情報や羊水中の生化学的検査所見より臍帯潰瘍の発生と関連する因子を検索する前方視的研究の開始。
6. まとめと臨床研究推進に向けた学会としての取り組み
齋藤 滋（富山大学）